



Andrew Woolner photography awoolner.com

01 2024年度をふりかえって：代表理事のメッセージ

いつも私たちの活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。また、子育てをしながら、多文化・多言語の家族に寄り添うために時間とスキルを注いでいるメンバーにも、心より感謝申し上げます。

おかげさまで今年度は、これまでの地道な取り組みが実を結び、いくつかの表彰をいただくことができました。一つは、こども家庭庁より令和6年度第2回「未来をつくるこどもまんなかアワード こども・若者活動奨励章」です。2017年に神奈川県「子育て支援大賞・奨励賞」を受賞したことをきっかけに、同県から推薦をいただき、この思いがけない受章にメンバー一同、大きな喜びを分かち合いました。さらに、神奈川県からは令和6年度「ボランティア活動奨励賞」もいただきました。市民団体として活動を始めた当初から憧れていた賞であり、市民主体のNPOとしての歩みに、いっそう力強い後押しをいただいた思いです。

私たちが考える「市民」には、外国出身の方々も含まれます。彼らは支援の対象や「お客さん」ではなく、ともに日本で暮らし、社会をつくる仲間であり、均質的になりがちな日本社会に彩りと豊かさをもたらしてくれる大切な市民です。世界を見渡すと、「多様性」という言葉が力を失いつつある現状があります。しかし、分断が進む今だからこそ、私たちのようなNPOの活動が一層求められていると強く感じています。小さくとも、その灯火を絶やさぬよう、これからも地域における多文化共生を推進してまいります。引き続き、温かいご支援・ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

NPO法人 Sharing Caring Culture 代表理事 三坂慶子

02 事業の成果

(1)異文化交流事業 ① 外国籍の子育て支援事業

多文化親子交流会、及びアートでつながるプロジェクト「クリエイティブ・マンデーズ」の実施

外国出身者と日本人保育士をファシリテーターとした多文化親子交流会は任意団体の立ち上げ時から続く居場所事業です。今年度より中央ろうきん助成事業として、多文化・多言語の家族で就業している母親や父親も参加できるよう週末に変更。加えて月曜日に新たに「クリエイティブ・マンデーズ」というコミュニティ型のプロジェクトを始め、アートや手芸などの創作活動によるつながりづくり事業を始めました。

●実施回数 一多文化親子交流会 / 年間 11回

一クリエイティブ・マンデーズ / 年間 24回

●受益対象者：未就学児を育てている外国籍の親子及び日本人親子 のべ親子 251人参加

(うち外国出身者は150人)



② 子どもの育成支援事業

多文化理解教育プログラムの開発「ダイバーシティ・トーク」カード制作及び、子ども多文化交流事業の実施

これまでの多文化交流から今年度は多文化理解教育へと重点おき、東急子ども応援プログラムの助成金により、外国籍児童と青葉区の学習塾の中学生や都筑区の学童児童がかかわる協働プロジェクトを実施。最初に課題を共有した後、一年にわたって学童児童は、外国にルーツを持つ児童をテーマにした動画制作に取り組み、中学生はワークショップで使用する対話カードの制作に取り組みました。尚、小学生が制作した動画は、かながわ・わがまち映像祭で優秀賞を受賞。中学生と制作した対話カードは、今後、中学生向けの多文化共生をテーマにした探究学習の授業で使用する予定です。また、今年度はアイネット地域振興財団の助成により、社会的擁護の児童への子ども多文化交流プログラムを実施。川崎愛児園にて、3歳から12歳までの子どもたちに世界旅行をテーマに多文化に親しむ機会をつくったほか、長年障がいのある児童の支援に携わってきた「あおばおもちゃのひろば」にて多言語おはなし会を開催しました。

●実施回数 ー多文化理解教育プログラム/年間7回 ー子ども多文化交流事業/年間6回

●受益対象者：外国籍の児童及び日本人の児童生徒のべ55人参加



(2)地域の多様な主体が連携・協働する多文化共生促進事業

外国籍住民による子育て情報冊子OYACO（おやこ）制作事業

二次元コードつきの子育て情報冊子OYACOチラシを都筑区のウェルカムキットに同封

2023年度より、当団体が出版する子育て情報冊子OYACOをホームページからPDFにてダウンロードができるようにし、二次元コードを掲載したチラシを作成。冊子の印刷費のコスト削減とペーパーレスを図るため、A4サイズのチラシに変更し、都筑区の外国人在住者向け情報支援ウェルカムキットに600部を同封しました。今年度の増刷分の印刷費は、一般財団法人ルビ財団のご支援により、印刷費代を賄うことができました。

●受益対象者：未就学児を育てている外国籍の親子向けにチラシ600部を配布



The lack of adequate facilities to care for sick children is alarming. Furthermore, there is no reliable service for picking up and dropping off these vulnerable kids. When a child becomes ill, many essential systems fall short, leaving families without the support they desperately need. 17

多文化共生協働事業

図書館、美術館、子育て支援拠点、地域企業と連携先が拡大

外国出身者を講師とした図書館での英語の読み聞かせや多言語おはなし会の企画運営を中心に、今年度は、美術館、中学校、大学、地域企業と協働先が広がりました。2022年以来実施している横浜市民ギャラリーあざみ野の在住外国人来館促進事業となる外国出身の親子向けのイベントの広報や当日の通訳翻訳サポートも継続。翻訳面では、ユニバーサルツーリズムを題材にした絵本「ほんとうにだいじょうぶ？」の多言語翻訳の依頼があり、英語とポルトガル語を担当しました。また、2021年度から継続している都筑区子育て支援拠点ポポラとの協業は、子育て支援センターの多文化環境の整備として、世界の文化を伝える「チルコロ・カルチャー」を開催。当法人のラトビアとナイジェリア出身のメンバーが文化展示に協力するほか、展示期間中には、ラトビア・ダンスやナイジェリアの巻き布で子どもをおんぶするワークショップを4回開催し、「子育て」という共通のテーマで多文化の親子が交流を深めました。さらに横浜市子ども・子育て支援事業計画のパブリックコメントに向けて、7月に共催で外国人の子育てグループトークを開催し、外国出身者20名の声を横浜市子ども青少年局へ届けることができました。

●実施回数 ー年間29回

●受益対象者：市内、県内外の児童、一般市民などのべ1,026人 NPO、図書館、美術館、企業などのべ14団体



●4月28日 横浜トリエンナーレ
アクセスプログラム @横浜美術館

- 6月2日 第5回通常総会 @かけはし都筑
- 6月4日 市長と語ろう「親子の居場所 インクルーシブな環境づくり」
@子育て支援センターPopola
- 6月23日 チャレンジパーク @ネクサス早野
- 6月29日 チルコロカルチャー「ラトビアのダンス」
@あいたいショッピングセンター



2024年

4月

5月

6月

7月



OYACOおやこ交流会
年間11回 実施

- 5月12日 英語のおはなし会
@山内図書館

東急子ども応援プログラム

- 「多文化理解教育プログラム開発」
- ・スターグローブ学習塾中高生@青葉区
年間3回
 - ・あっとほーむ学童児童 @都筑区
年間4回
 - ・視察 東京都人権プラザ、関西視察

- 7月6日 英語のおはなし会 @ 港北図書館
- 7月11日 チルコロカルチャー「ナイジェリアの巻布」
@子育て支援センターPopola
- 7月14日 キッズヨガ @かけはし都筑
- 7月20日 外国出身のお母さん、お父さん 横浜での
子育てを話そう！@子育て支援センターPopola

Creative Mondays
アートでつながるプロジェクト
年間24回 実施



- 8月1日 多言語おはなし会 @都筑図書館
- 8月6日 多言語おはなし会 @神奈川図書館

- 10月6日 DE&I Festival @ノースポートモール
- 10月12日 ネイチャーゲーム @都筑中央公園
- 10月26日 ハロウィーンイベント @かわわ児童家庭センター
- 10月27日 ハロウィン @かけはし都筑



8月

9月

10月

11月

- 9月21日 子ども夢パークへ行こう！ @川崎市子ども夢パーク
- 9月11日 チルコロカルチャー「ナイジェリアの巻布」
@子育て支援センターPopolaサテライト
- 9月26日 チルコロカルチャー「ラトビアの塗り絵」
@子育て支援センターPopolaサテライト
- 9月29日 英語のおはなし会 @南大井図書館

- 11月2日 子ども多文化交流 インドへ行こう！@川崎愛児園
- 11月3日 多言語おはなし会（インドネシア、ネパール、ナイジェリア）
@港北図書館
- 11月13日 多文化共生ワークショップ @神奈川大学附属中学校
- 11月18日 外国人社員向け防災ワークショップ @Bosch株式会社
- 11月23日 あおばを食べる収穫祭マルシェ出店@藤が丘公園



2025年

- 2月2日 英語のおはなし会 @八潮図書館
- 2月11日 子ども多文化交流 エクアドルへ行こう！@川崎愛児園
- 2月15日 多言語おはなし会（インドネシア、コスタリカ、ラトビア）@あおばおもちゃのひろば
- 2月16日 Free Play Zone @横浜市民ギャラリーあざみ野
- 2月16日 英語のおはなし会 @中野南台図書館

- 12月7日、8日 Boschであったかクリスマス
@Bosch株式会社
- 12月12日 多文化共生ワークショップ
@東洋大学
- 12月14日 英語のおはなし会
@都筑図書館
- 12月15日 寄付月間2024
オーストラリア多文化主義
視察報告会 @Kosha33
- 12月18日 英語のおはなし会
@中野東図書館
- 12月26日 多言語おはなし会
（ネパール、マレーシア、フィリピン）
@神奈川図書館

- 1月11日 多言語おはなし会（インドネシア、スウェーデン、ラトビア）
@羽田図書館

- 3月1日 多言語おはなし会（インド、タイ、ナイジェリア）
@あおばおもちゃのひろば
- 3月8日 子ども多文化交流 ナイジェリアへ行こう！
@川崎愛児園
- 3月27日 多言語おはなし会（インド、カナダ、タイ）@都筑図書館

12月

1月

2月

3月



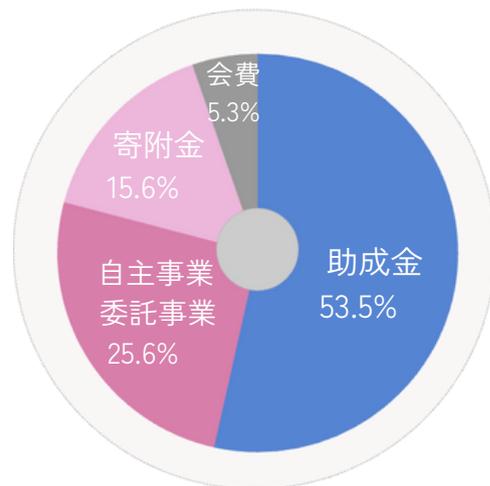
05 会計報告（2024年度）

収入: 3,366,265円

支出: 3,273,397円

今年度は、3つのプロジェクトを助成金によって実施したため、昨年度よりも助成金の比率が高まりました。一方、委託で実施する多文化共生協働事業は、美術館、大学、図書館からのイベント企画運営のほか、企業向けの防災ワークショップの実施や絵本の多言語翻訳など、広がりが出ました。

寄附金については、SOMPOグループのボランティア組織である「SOMPOちきゅう倶楽部」の社会貢献ファンドから寄附金を頂戴しました。外国出身者の病院への通訳同行費、資料翻訳代、ハロウィンやイースターのコミュニティイベントでの資材、お菓子代購入費として寄附金を使用しました。また、SGSジャパン株式会社様（保土ヶ谷区）より研修室を無償でご提供いただくなど、企業からのご支援もいただきました。



06 NPO会員コミュニティ（2024年度）



正会員	12名
賛助会員	27名
マンスリーサポーター （寄付会員）	26名
ボランティア	8名

計 73名

*正会員・賛助会員39名の内
19名が外国出身者

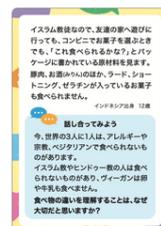
07 2025年度に向けて

2024年度に東急子ども応援プログラムの助成をいただき、青葉区の学習塾「スターグローブ」と都筑区の学童「認定NPO法人あっとほーむ」に通う児童・中高生の協力を得て、多文化理解教育プログラムを開発し、「ダイバーシティ・トーク」カードを制作しました。カード完成の報告をSNSで発信したところ、「購入したい」「使ってみたい」といった嬉しい反響をいただいています。

その声を受け、10月頃にReadyforにてクラウドファンディングを実施し、カードを届ける準備を進めています。

今後は、このカードを活用した多文化共生ワークショップを横浜市の枠を越えて広げ、子どもたちが多様な視点を知り、互いの考えを聞き合う対話を通じて、ともに生きる力を育んでいきます。この挑戦に、ぜひ温かいご支援をいただければ幸いです。

ダイバーシティ
トークカード
Diversity TalkCard



Sharing Caring Culture
Non-Profit Organization

NPO法人Sharing Caring Culture

Email: info.sccjapan@gmail.com

https://sharingcaringculture.org

ホームページ



Facebook



Instagram

